



# 新潟クボタ大豆研究会通信

<NO.1>

株式会社新潟クボタ  
ソリューションチーム

平成21年6月2日

## ● 第1回現地研修会 たくさんのご参加ありがとうございました

各農業指導普及センター様、関連メーカー様等にご協力をいただき、5月23日、25日、29日と県内3ヶ所の実証圃にて「第1回現地研修会」を開催しました。

お忙しい中、下越会場28名、中越会場53名、上越会場35名と大変多くのお客様にお集まりいただきました。また、クボタ関係者、新潟クボタセールスも社内研修を兼ねて多数参加しました。



大豆の播種床づくりに最適な  
バーチカルハローでの碎土



アップカットロータリによる耕うん畝立同時播種



ブームスプレーヤーでの除草剤散布



第2回現地研修会（クボタ乗用管理機による中耕培土除草）は6月下旬に予定しています。  
（下越会場23日、中越会場20日、上越会場26日）たくさんのご参加お待ちしております！

## ●新潟クボタ大豆研究会会員 随時募集中！

2月に立ち上げました「新潟クボタ大豆研究会」は現在、お客様160名（約100組織）、協力機関・関係者54名になりました。今後も、皆様の大豆経営のお役に立つ情報交換の場として、研修会等を企画していきたいと思っております。研究会会員は、今後も随時募集中です。

## ●実証圃では、その他にも色々な作業を行っています

第1回現地研修会を開催するまでには、各実証圃にて事前に新潟クボタのスタッフが様々な機械作業を行い、準備をしてきました。ここでは、研修会としては実施しなかったためお客様にはお見せできなかった作業の舞台裏を一部ご紹介します！

### <溝掘機+レーザー機器による周囲明きょ> 堺町生産組合様(長岡) 4月24日

配線不要で取付作業機を選ばないレーザー機器を溝掘機に付けることで、排口側へ向かって傾斜を付けた溝を掘ることができ、圃場の排水性がアップします。



受光器で感知した現在の高さをワイヤレス・リモートディスプレイに表示します。オペレーターは、前を見ながら高さを調整して作業しています。

### <サブソイラによる排水対策> 島田生産組合様(上越) 4月25日

心土に亀裂を入れることで、排水効果がアップします。慣行区は10m間隔、実証圃は5m間隔でサブソイラを入れました。



### <スタフルカルチによる粗耕起> 堺町生産組合様(長岡) 5月19日



通常のロータリ耕よりも数cm深く起こすことで、大豆の根域を広げます。また、下層に蓄積した窒素成分を表へ出すことで、乾土効果による地力の増進を促します。今回は、耕深15cmで作業を行いました。

## ●有機石灰・農薬の実証圃でも、散布作業を行いました

農業普及指導センター様にご協力いただいて研修会を開催している3カ所の実証圃以外にも、新潟クボタ独自で有機石灰の効果や除草体系の実証を行っています。

### <マルチスプレッダによる石灰散布> 杉谷内生産組合様(新発田) 4月30日



フロアコンバで送り出された散布物をシャッター開度でしぼり散布量を調節するので、堆肥散布はもちろん、鶏ふん、土壌改良材などの少量散布もできます。

根粒菌の増大に！  
「ネオベスト」

有機石灰は、石灰成分の縦浸透により効果が根域全体に作用します。根が深く伸びる大豆に適した資材です。

